

93人参加し 補修材セミナー

セ協、福井で開催

セメント協会は6日、福井市の福井県職員会館で「セメント系補修・補強材料に関するセミナー」を開催した。後援は福井県コンクリート診断士会でゼネコンやコンサルなど93人が出席した。プログラムは「断面修復工法とグラウト工法の施工例」住友大阪セメント・村瀬欣伸氏、「断面修復工法の種類と特徴」宇部三菱セメント研究所・田原秀男氏、「断面修復材と無収縮グラウト材」太平洋マテリアル・掛川勝氏、「断面修復工法とグラウト工法の施工

要領」住友大阪セメント・山田浩司氏。

同協会では昨年8月に刊行した技術資料「すぐに役立つセメント系補修・補強材料の基礎知識」の普及活動の一環として今年1月まで全国5会場（福岡、名古屋、大阪、札幌、東京）で技術セミナーを開催し、1000人を超える聴講者があった。そのなかで、関心の高かった章を中心に今年度の技術セミナーは今回の福井を含め、大分市（11月15日）、仙台市（12月12日）、岡山市（1月23日）の4回場で開催する。大分会場はNPO法人大分県コンクリート診断士会が後援を予定している。